

旅行取扱状況の概観（平成29年4月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比83.6%、学生団体は同89.0%と前年を下回り、団体旅行合計で同84.6%と前年を下回った。企画旅行については前年比104.3%と前年を上回り、個人旅行については同105.7%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比100.2%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比101.0%、学生団体は同104.1%と前年を上回り、団体旅行合計で同103.0%と前年を上回った。企画旅行については前年比101.0%と前年を上回り、個人旅行については同97.7%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比101.0%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比100.5%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の4月の総取扱額は前年比101.0%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は招待旅行の取扱人数の減少や前年実施の大型周年旅行などの影響により、前年比84.3%と前年を下回った。学生団体は修学旅行の取扱人数の減少などにより、同89.0%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比85.2%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体はイベント団体参拝などの増加により、前年比100.8%と前年を上回った。学生団体は修学旅行などの取扱人数の増加により、同104.1%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比102.9%と前年を上回った。

外国人旅行はレールパスの精算基準の変更などの影響により、前年比90.6%と前年を下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、昨年の北海道新幹線の開業効果の影響もあり北海道や東北方面などが不振であったが、九州、沖縄、伊勢志摩方面や関東近郊などが前年を上回り、取扱額で前年比100.5%と前年を上回った。

ホリデイについては、方面別取扱人数の状況では、ヨーロッパや台湾、ハワイ方面などを中心にほぼ全方面前年を上回り、取扱額で同126.5%と前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、前年好調であったアメリカやオセアニア方面が不振であったが、ヨーロッパ方面を中心に好調に推移した。バス旅行を除く国内旅行部門は、前年の北海道新幹線の開業効果のあった道南方面が不振であったが、東北や東海伊勢方面が好調に推移した。バス旅行部門は、軽井沢バス事故の影響による不振から復調傾向がみられ、日帰りバスを中心に好調に推移した。テーマ旅行部門は、海外旅行の中南米、モロッコ、ドバイなどを中心に、国内旅行も含め総じて好調に推移した。

この結果、総取扱額は前年比100.7%となり、前年を上回った。

以上